

化石燃料不要の乾燥システム

汚泥の減量化兼燃料化システム

特徴

- 高含水率の脱水汚泥を、化石燃料を使用することなく、含水10%程度の乾燥汚泥にすることが可能
- 発電燃料としての利用で、脱水汚泥と比較して埋立処分量を1/20程度に削減。
セメント製造に利用すれば、埋立処分量は0となる
- 製品についても空気搬送が容易な粒径、比重

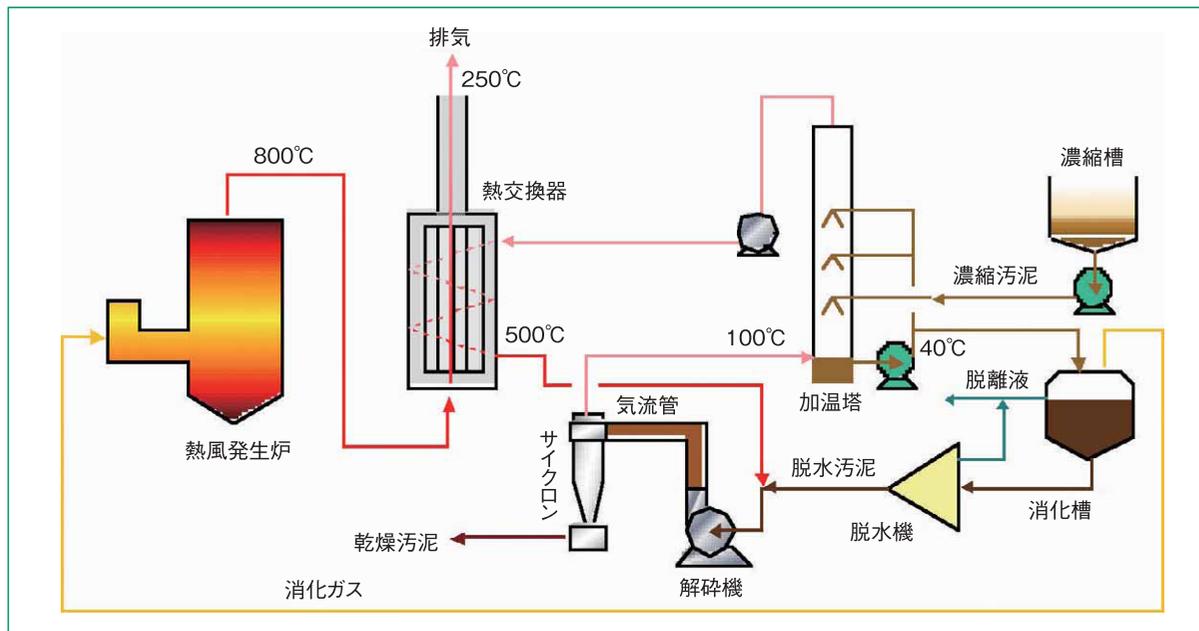
概要

(技術の原理・動作等)

汚泥を消化し、その消化ガスを燃焼させることにより気流乾燥をおこない、脱水汚泥中の水分を蒸気に変換します。得られた蒸気を利用して消化に必要な汚泥加温をおこないます。脱水汚泥が処理されて生成される乾燥汚泥は顆粒状～粉末状の褐色で、可燃分は全重量比75%程度を占め、低位発熱量は一般的な石炭の55%程度です。なお、規模は最大で脱水汚泥処理量約90t/日です。



下水汚泥乾燥製品



消化汚泥乾燥システムフローシート

適用分野
下水処理場有機性汚泥処理設備

水

省エネ・エネルギー回収

エネルギー
蓄エネ創エネ

新エネルギー

廃棄物処理
再資源化資源

大気

土壌

その他

川崎重工業株式会社 プラント・環境カンパニー営業本部環境プラント営業部 〒105-8315 東京都港区海岸一丁目14-5

● TEL / 03-3435-6655 ● FAX / 03-3435-6601 ● E-Mail / tsubota_t@khi.co.jp ● <http://www.khi.co.jp/>

※留意事項：本書は環境・エネルギー問題の解決のお役に立てると考えられる事例（技術・製品等）を紹介するものであり、これらについて移転・販売することを保証するものではありません。